橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	31° 42′ 54″	橋梁ID
				経度	131° 07′ 43″	31.71524,131.12866
谷1号橋 (フリガナ)タニイチゴウキョウ	谷・高畑線	宮崎県三股町大字樺山				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
三股町	2022.10.4	開水路	有	一般道	その他	上水道

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	(株)共同技術コンサルタント 安藤　直行

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	写真1 主桁 01 (径間1)			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅱ	土砂詰り	写真11 舗装 01 (径間1)			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁に剥離・鉄筋露出が生じている。予防保全の観点から対策を講じることが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1965年	4m	4.5m
橋梁形式		
1径間RC床版橋(その他),重力式橋台2基		



起点側



終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）
〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造（主桁）【判定区分：　Ⅱ　】	その他【判定区分：　Ⅱ　】
写真 1  径間 1 主桁 01 剥離・鉄筋露出	写真 11  径間 1 舗装 01 土砂詰り
【判定区分：　　】	【判定区分：　　】

部材番号図

起点側	緯度	31° 42′ 54.85″	終点側	緯度		橋梁ID	31.71524,131.12866
	経度	131° 07′ 43.16″		経度			

橋梁名・所在地・管理者名

フリガナ 橋 梁 名	タニイチゴウキョウ 谷1号橋	路 線 名	谷・高畑線	管理者	三股町	橋梁コード	10110102

部材番号図

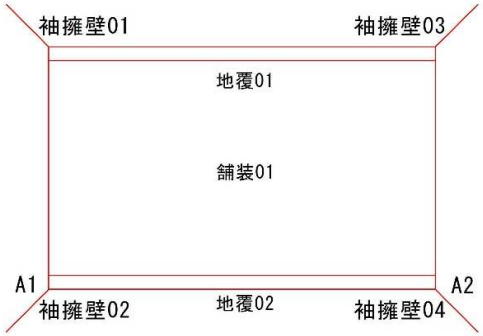
主桁(Mg)

径間1



その他

径間1



下部構造(Ap, Ac, Aw, Ax, Ff)

径間1



損傷図

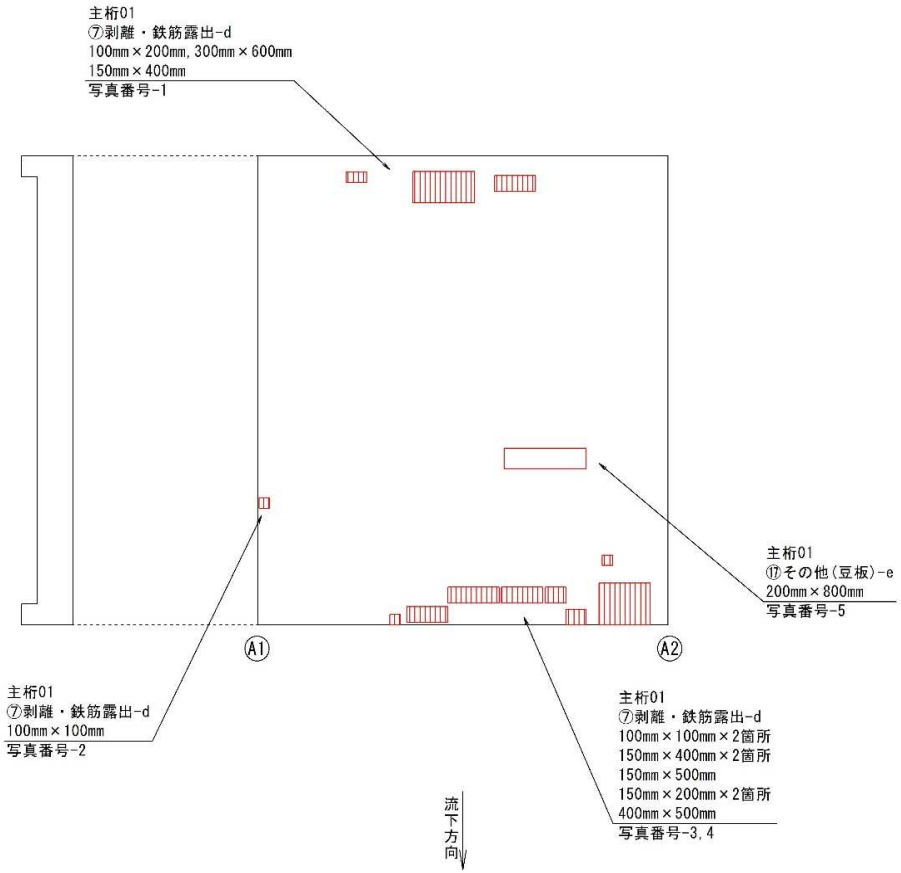
起点側	緯度	31° 42′ 54.85″	終点側	緯度		橋梁ID	31.71524,131.12866
	経度	131° 07′ 43.16″		経度			

フリガナ 橋 梁 名	タニイチゴウキョウ 谷1号橋	路 線 名	谷・高畑線	管理者	三股町	橋梁コード	10110102

損傷場所の記録図

径間番号:1

桁下面



損傷の凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離 鉄筋露出	
抜け落ち 漏水	
その他	
うき	

損傷図

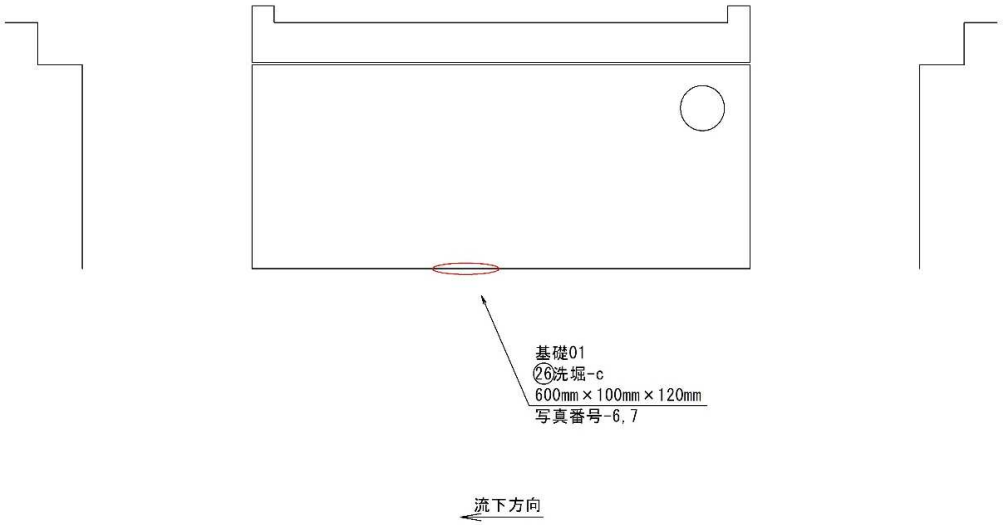
起点側	緯度	31° 42′ 54.85″	終点側	緯度		橋梁ID	31.71524,131.12866
	経度	131° 07′ 43.16″		経度			

フリガナ 橋 梁 名	タニイチゴウキョウ 谷1号橋	路 線 名	谷・高畑線	管理者	三股町	橋梁コード	10110102

損傷場所の記録図

径間番号:1

A1橋台



損傷の凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離 鉄筋露出	
漏水	
その他	
うき	

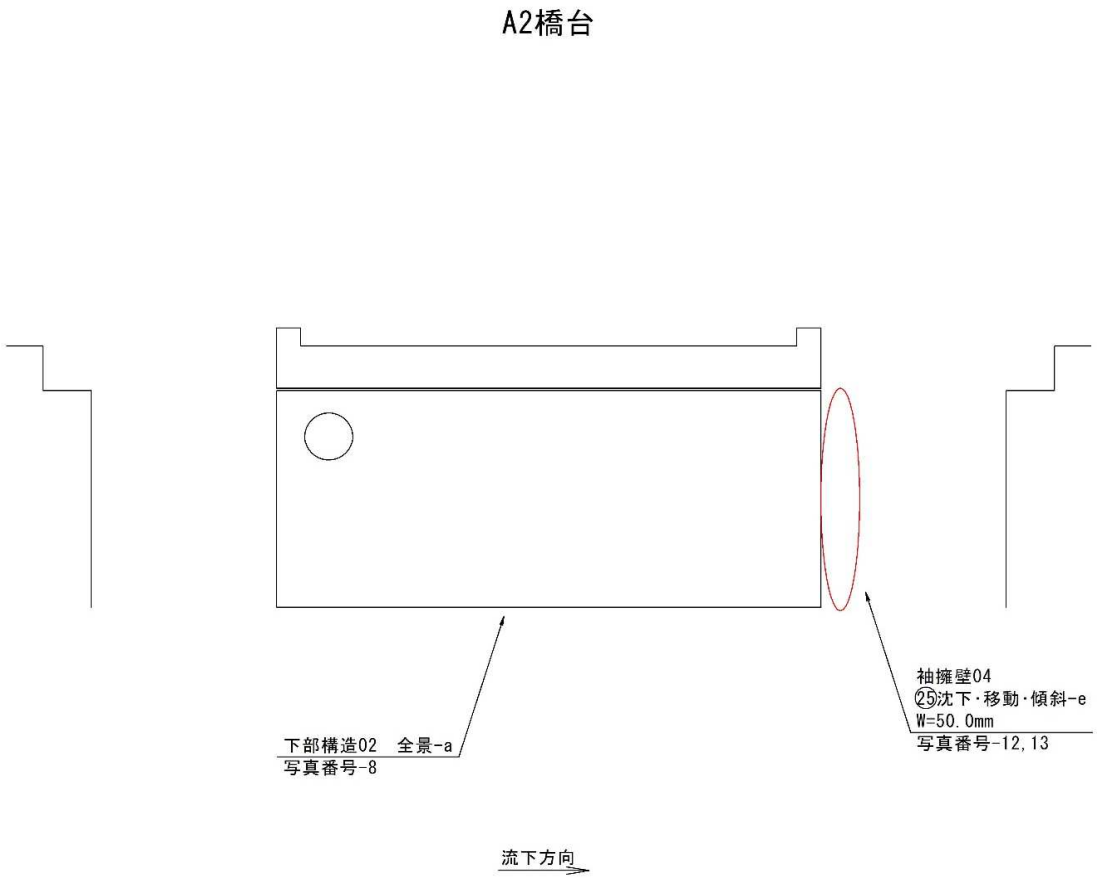
損傷図

起点側	緯度	31° 42′ 54.85″	終点側	緯度		橋梁ID	31.71524,131.12866
	経度	131° 07′ 43.16″		経度			

フリガナ 橋 梁 名	タニイチゴウキョウ 谷1号橋	路 線 名	谷・高畑線	管理者	三股町	橋梁コード	10110102

損傷場所の記録図

径間番号:1



損傷図

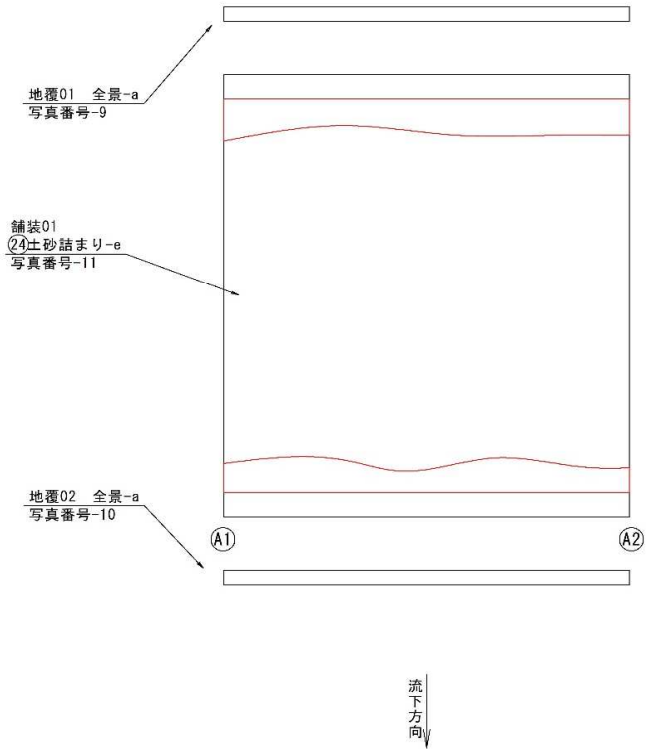
起点側	緯度	31° 42′ 54.85″	終点側	緯度		橋梁ID	31.71524,131.12866
	経度	131° 07′ 43.16″		経度			

フリガナ 橋 梁 名	タニイチゴウキョウ 谷1号橋	路 線 名	谷・高畑線	管理者	三股町	橋梁コード	10110102

損傷場所の記録図

径間番号:1

橋面



損傷の凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離 鉄筋露出	
漏水	
その他	
うき	

点検表記録様式

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	橋梁形式		起点側	緯度	31° 42′ 54.85″
					経度	131° 07′ 43.16″
谷1号橋 (フリガナ)タニイチゴウキョウ	谷・高畑線	1径間RC床版橋（その他）,重力式橋台2基		所在地	宮崎県三股町大字樺山	
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件（名称）
三股町	2022.10.4	用排水路	有	一般道	その他	上水道

診断者	日測コンサルタント(株)	診断責任者	大塚　航世
点検者	(株)共同技術コンサルタント	点検責任者	安藤　直行

部材毎の診断（各部材毎・変状の種類毎に判定を記入）

点検時に記録										措置後に記録		
部　材　名		記号	部材番号	径間	判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	対策区分（A～S）	損傷度評価（a～e）	変状の種類	備　考（写真番号、位置等）	措置後の判定区分	措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Mg	01	1	Ⅱ	C1	d	剥離・鉄筋露出	写真番号 1			
		Mg					d	剥離・鉄筋露出	写真番号 2			
		Mg					d	剥離・鉄筋露出	写真番号 3,4			
		Mg				B	e	その他(豆板)	写真番号 5			
下部構造		Ff	01	1	Ⅰ	B	c	洗掘	写真番号 6,7			
		SB	02	1	Ⅰ	A	a	－	写真番号 8			
その他	地覆	Fg	01	1	Ⅰ	A	a	－	写真番号 9			
		Fg	02	1	Ⅰ	A	a	－	写真番号 10			
	舗装	Pm	01	1	Ⅱ	M	e	土砂詰り	写真番号 11			
	袖擁壁	Ww	04	1	Ⅰ	B	e	沈下・移動・傾斜	写真番号 12,13			

様式3（その2）

現地状況写真（全景写真）

道路橋毎の健全性	Ⅱ	主桁	Ⅱ	横桁	---	床版	---	下部構造	Ⅰ	支承部	---	その他	Ⅱ

フリガナ 橋 梁 名	タニイチゴウキョウ 谷1号橋	路 線 名	谷・高畑線	上部工構造形式	1径間RC床版橋（その他）	架設年次	1965年	点検日	2022/10/4
						橋 長	3.7m	幅 員	4.5m

現地状況写真

名称	橋面	名称	側面	名称	桁下全景
メモ		メモ		メモ	







名称	下部工	名称	路下状況	名称	
メモ		メモ		メモ	





点検表記録様式

部材毎の状況写真（損傷状況）

○部材毎、損傷毎の損傷度評価がa、b、c、d又はeの場合、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)	部材番号	01	径間1	【損傷度評価： d 】

写真 1



損傷の種類　メモ：100mm×200mm,300mm×600mm
剥離・鉄筋露出(部分的)　150mm×400mm

上部構造(主桁)	部材番号	01	径間1	【損傷度評価： d 】

写真 2



損傷の種類　メモ：100mm×100mm
剥離・鉄筋露出(部分的)

上部構造(主桁)	部材番号	01	径間1	【損傷度評価： d 】

写真 3



損傷の種類　メモ：400mm×500mm,他7箇所
剥離・鉄筋露出(部分的)

上部構造(主桁)	部材番号	01	径間1	【損傷度評価： d 】

写真 4



損傷の種類　メモ：400mm×500mm,他7箇所
剥離・鉄筋露出(部分的)

点検表記録様式

部材毎の状況写真（損傷状況）

○部材毎、損傷毎の損傷度評価がa、b、c、d又はeの場合、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)　部材番号　01　径間1　【損傷度評価：　e　】	部材番号　【損傷度評価：　】
写真 5  損傷の種類　メモ：200mm×800mm その他(豆板)(部分的)	写真 損傷の種類　メモ：
部材番号　【損傷度評価：　】	部材番号　【損傷度評価：　】
写真 損傷の種類　メモ：	写真 損傷の種類　メモ：

点検表記録様式

部材毎の状況写真（損傷状況）
〇部材毎、損傷毎の損傷度評価がa、b、c、d又はeの場合、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造(基礎[フーチング]) 部材番号 01 径間1 【損傷度評価： c 】	下部構造(基礎[フーチング]) 部材番号 01 径間1 【損傷度評価： c 】
写真 6  損傷の種類 メモ：600mm×100mm×120mm 洗掘(部分的)	写真 7  損傷の種類 メモ：600mm×100mm×120mm 洗掘(部分的)
下部構造(下部構造) 部材番号 02 径間1 【損傷度評価： a 】	部材番号 【損傷度評価： 】
写真 8  損傷の種類 メモ：損傷なし ---	写真 損傷の種類 メモ：

点検表記録様式

部材毎の状況写真（損傷状況）
〇部材毎、損傷毎の損傷度評価がa、b、c、d又はeの場合、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(地覆) 部材番号 01 径間1 【損傷度評価： a 】	その他(地覆) 部材番号 02 径間1 【損傷度評価： a 】
写真 9  損傷の種類 --- メモ：損傷なし	写真 10  損傷の種類 --- メモ：損傷なし
その他(舗装) 部材番号 01 径間1 【損傷度評価： e 】	**その他(袖擁壁) 部材番号 04 径間1 【損傷度評価： e 】**
写真 11  損傷の種類 土砂詰り(部分的) メモ：土砂詰りが見られる。	写真 12  損傷の種類 沈下・移動・傾斜(部分的) メモ：W=50.0mm

点検表記録様式

部材毎の状況写真（損傷状況）

○部材毎、損傷毎の損傷度評価がa、b、c、d又はeの場合、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(袖擁壁)　部材番号　04　径間1　【損傷度評価：　e　】	部材番号　【損傷度評価：　】
写真 13  損傷の種類　メモ：W=50.0mm 沈下・移動・傾斜(部分的)	写真 損傷の種類　メモ：
部材番号　【損傷度評価：　】	部材番号　【損傷度評価：　】
写真 損傷の種類　メモ：	写真 損傷の種類　メモ：